

[展示車ラインナップ]

トヨタWRC参戦の系譜

～ 2017年新たな挑戦へ～



1957 豪州一周ラリー参戦車 (レプリカ)
トヨペット クラウン RSD

1957年の「第5回・豪州一周ラリー」に日本車として初めて参加。47位で完走を果たして日本車の性能を世界に示すとともに、その後の国際的なモータースポーツ活動のさきがけとなった。



1985 サファリラリー優勝車
セリカ ツインカムターボ (TA64)

1983年から「グループB」で争われるWRC参戦用として、セリカをベースに開発したラリーカー。4WD (4輪駆動) やミッドシップエンジンのライバル車の中で奮戦し、サファリラリー3連勝など、主に耐久ラリーで活躍。



1985 グループS試作車
トヨタ MR2 (222D)

FISA (国際自動車スポーツ連盟) が発表した「グループS」構想に沿って開発を進めた、MR2ベースの4WDラリーカー。結局「グループS」構想の立ち消えにより参戦は幻となった。



1990 サファリラリー優勝車
セリカ GT-Four (ST165)

1987年から始まった「グループA」規定によるWRC参戦用に、セリカ GT-Fourをベースに開発したトヨタ初のフルタイム4WDラリーカー。90年にはC.サインツが日本車による初のドライバーズチャンピオンに輝く。



1993 オーストラリアラリー優勝車
セリカ GT-Four (ST185)

ST165の後継として1992年から実戦に登場。92年はC.サインツが2度目のドライバーズチャンピオンを獲得。93、94年は合計13勝を挙げ、2年連続のマニファクチャラーズ&ドライバーズのダブルタイトルを獲得するなど、黄金期を築いた。



1995 サファリラリー優勝車
セリカ GT-Four (ST185)

第43回・サファリラリーに出場した藤本吉郎は見事優勝を飾り、日本人初のサファリ・ウィナーとなった。セリカ GT-Fourは4年連続、セリカとしては通算8度目の快挙となった。



1995 コルシカラリー優勝車 (レプリカ)
セリカ GT-Four (ST205)

ST185の後継として、1994年にデビュー。前輪のスーパー ストラット サスペンションが話題を集めたが、セッティングが難しい面も併せ持っていた。



1997
カロラ WR-Car (プロトタイプ)

1997年からの「WRカー」規定に基づいて開発したラリーカーで、欧州向けカロラをベースとした4WDマシン。通算4勝を挙げ、99年にはマニファクチャラーズチャンピオンを獲得。



2015 WRC テストカー
ヤリス

2017年からのWRC復帰決定を受け、現在開発中のラリーカー。軽量コンパクトなヤリス (日本名: ヴィッツ) をベースに、ハイパワーエンジン、4WDシステムを搭載。

※都合により予告なく展示内容を変更する場合がございます。

〒135-0064 東京都江東区青海一丁目3番12号 [TEL] 03-3599-0808 (代表) 11:00~18:00
[営業時間] ヒストリーガレージ 11:00~21:00 [HP] <http://www.megaweb.gr.jp>

MEGA WEB